
【11/13】ラトビアの男声アカペラグループ「COSMOS」来日公演

(2008/11/14 金曜日 01:01:59 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 ()

6人の若いラトビア人による男声アカペラグループ「COSMOS」絶賛博す？ 6人の若いラトビア人による男声アカペラグループ「COSMOS」が来日、11月7日に神戸新聞社松方ホール、同9日に宝塚ベガホールで演奏会を行い、美しいハーモニーと、綿密に計算されたパフォーマンス構成のグレードの高さに、超満員の聴衆を驚愕・瞠目させた。この演奏会は東郷武在大阪名誉領事と関西日本ラトビア協会（今年10月スタート）が推進したもので、会場には来日中のリガ市長夫妻の他、ヴァイヴァルス駐日ラトビア大使、オレグス同大使館員も姿を見せた。7日は神戸市混声合唱団、9日は関西学院グリークラブが賛助出演し、音楽を通じた日本とラトビアの友好を深めた。9日には歌手の小田陽子さんが有名な「マレーが与えた人生」（100万本のバラ原曲）をラトビア語で歌い、併せて聴衆に歌唱指導して大合唱を実現した。8日には名誉領事館（ダイワハウス工業本社ビル）で「COSMOS歓迎の夕べ」が開かれ、こちらも大きな盛り上がりを見せた。「COSMOS」はラトビアの日本のSMAPに例えられる美男子揃いの人気グループで、とりわけ若い女性聴衆のハートを完全に掴み、一気にファンが激増した。このページは関西日ラ友好協会の池田裕子さん（関西学院史編集室）と、特別出演した日ラ音楽協会の小田陽子さん（歌手）から聞いた話の一部をまとめたものです。【Latvija編集室】